

令和5年1月26日部長会議 会議録（要旨）

◇日 時 令和5年1月26日(木) 午前8時35分から午前9時40分まで

◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室

◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長（代）、新産業創造推進局長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長（代）、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長（代）、危機管理防災監、及び関係課職員

◆会議内容

〈市長あいさつ〉

- ・新年度の当初予算について市長査定を行った。各部局においては、予算編成の基本方針「未来へのチャレンジと変化の兆し」を具体化するため、新規事業などに知恵を絞っていただいた。
 - ・3月市議会定例会については、新年度当初予算案を中心に、議会の皆さん市民の皆様にしっかりと丁寧に説明できるよう準備をお願いする。
 - ・新型コロナ感染症については、1月24日にレベル4に引き下げられているが、インフルエンザも同時流行しているという状況もあり、引き続き、基本的な感染対策の徹底をお願いする。
 - ・この春にコロナが5類に移行されるという状況が見えてきた。今後の準備を各セクションでお願いする。
 - ・部局のヒアリングを行う。今回は、各部局の主要な事業に絞って行う。現在までの進捗状況を確認するとともに、今後の事業展開などについても議論したい。

1 報告事項

(1) 令和4年度まちづくりアンケート 集計結果について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明した。(資料1参照)

○質疑なし

2 協議事項

（1）令和5年度組織・機構の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。(資料2参照)

○質疑

〔西澤副市長〕復興対策室について、説明を加えてもらった。

市長が言っている「心の復興」についても、組織の再編により市長直轄的なイメージにもなり、説明の材料となる。

〔総務部長〕 そこを踏まえて説明する。

〔企画政策部長〕補足させていただく。移住推進課の新設について、最近の移住では非常に細かい移住のニーズがあり、そこにきめ細かに対応する必要がある。全序的に移住推進を図っていきたいと考えており関係課に移住推進の担当者を置くようなことも考えている。詳細はこれからだが、そのような組織も含めて全序的な移住推進体制を作っていくたい。

〔総務部長〕調整をお願いする。

○今後の方向性

原案を了承

（2）令和5年度に選定する指定管理施設について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料3参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（3）令和元年東日本台風により被災した住宅用地の減免継続について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明した。（資料4参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（4）長野市国民健康保険事業第二期財政健全化計画について（保健福祉部）

標記事項について、保健福祉部長から説明した。（資料5参照）

○質疑

〔財政部長〕 令和3年度の現年分の徴収率が93.7%、若干低い印象を受ける。ぜひ、現年分の取り組みを強化していただきたい。

〔保健福祉部長〕 長野県の市町村の中でも長野市の収納率が一番低いという指摘をされている。しっかりと取り組んでいきたい。

○今後の方向性

原案を了承

（5）長野市浅川児童センターのプラザへの統合について（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長から説明した。（資料6参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（6）第二期長野市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長から説明した。（資料7参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（7）市営住宅等の連帯保証人の廃止について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明した。（資料8参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

3 その他

(1) マイナンバーカード申請期限延長に伴う対応について（地域・市民生活部）

標記事項について、地域・市民生活部長から説明した。（資料9参照）

○質疑

〔建設部長〕 派遣の重要性は重々理解している。現在は、30日間1名もしくは2名の交代であるが、もう少し人数を増やしていただき、例えば30日間を4名交代等、1人の負担を減らすことはできないか。

〔地域・市民生活部長〕 これから調整させていただく中で、できれば少ない担当の方にお願いしたいが、事情も考慮しながら進めていきたい。

〔総務部長〕 繁忙期の体制のことになると思うが、やりくりをしながらお願いしたい。

職員のマイナンバーカード取得に努力をいただいている。令和6年度位を目指しに、できれば職員証をマイナンバーカードに切り替えができるように対応を進めたい。また、複合機もマイナンバーカードに対応したものを見定しながら入れ替えていきたい。

〔企画政策部長〕 全庁的に引き続き協力体制をお願いする。

(2) 緊急時における子ども支援ネットワークの設立について

（こども未来部・危機管理防災課防災監）

標記事項について、こども未来部長・危機管理防災監から説明した。（資料10参照）

○質疑

〔財政部長〕 事務局機能で「市の負担金の一部をネットワーク形成・維持業務を担う支援団体への事務局経費に充てるよう検討」とあるが、6年度以降について市の財政への影響はどう捉えればいいのか。

〔こども未来部長〕 子ども・子育てフェスティバル実行委員会は、複数の団体が重複して入っており、この平時の機能を、緊急時のネットワークと融合していくことを想定している。その中で事務局経費等がかからってくるとすれば、その一部を負担することも考えられる。今後検討していく。

〔保健所長〕 このネットワークの構成員となっている方々については、令和元年台風災害の時にも非常に活躍していただき、保健医療活動とも連携して対応したということで、今後もこういう動きをしていただくことはすごくありがたい。十分に他の活動と連携とっていただくことが必要なので、そこはお願いしたい。

疑問として、タイトルが「緊急時における」となっており、災害としてはわかりやすいが、それ以外に、どのような緊急時を具体的に想定しており、ネットワークを動かす緊急事態の判断がどのようにされるのか決まっているのか。

〔こども未来部長〕 ネットワークの検討メンバーが固定化されるわけではなく、他にも活動されてたりするところともネットワークを構築し、市内全域で幅広く活動できるものを想定している。

〔こども政策課〕 現在作られている規約の中では、基本的には災害を想定している。

ただ、このネットワークに関しては、休眠預金を財源として使っていく中で、その補助、助成を受ける条件について、現在、災害などの緊急時にどのように対応するかに絞って検討を進めていただいている。

ネットワークが立ち上った以降は、子供への実際の対応のガイドラインやコーディネーションのガイドラインを作っていく中で、緊急時にどのようなものを含め対応していくのか考えていきたい。

〔保健所長〕 タイトルを「災害時」子ども支援ネットワークとするのが分かりやすくていいのではないか。コロナ感染症により2、3年前に学校を休業にすることもあり、子供たちにとっては緊急時だったと思うが、そういった時にも活動ができるのかを考えると、そこは微妙かと思う。タイトルの変更が難しいのであれば、

災害において子供の支援をみんなで協力して行うといった明確なコンセプトでやるのがいい。
〔企画政策部長〕意見も参考に進めていただくようお願いする。

(3) 「令和4年度 長野市子ども議会」の開催について (教育委員会)

標記事項について、勝野教育次長から説明した。(資料11参照)

○質疑なし